

2025年度

学生募集要項

(第3次募集)



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学大学院

総合人文社会科学研究科（修士課程）

総合人文社会科学専攻

2025年度本研究科（第3次募集）は、前期日程入学試験及び後期日程入学試験の結果、募集人員が充足した場合は、実施しません。第3次募集の実施・不実施につきましては、2025年2月7日（金）16時に本研究科 web サイトにてお知らせします。

災害等及び交通機関の事故等により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験開始時刻の繰下げ等の措置を行うことがあります。新たな措置を講じる必要が生じた際には、本研究科 web サイト又は出願時に登録したメールアドレスへお知らせします。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>

信州大学大学院総合人文社会科学研究科

学生募集要項（第3次募集） 目次

I. インターネット出願の流れ	2
II. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	6
1. 信州大学大学院入学者受入方針	6
2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針	6
3. 各分野の入学者受入方針	6
III. 総合人文社会科学研究科募集要項（第3次募集）	9
1. 募集人員	9
2. 出願資格	9
3. 入学資格審査	12
4. 出願手続	13
5. 選抜日時等及び選抜方法	19
6. 合格者の発表	22
7. 入学手続及び納付金	22
8. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談	23
9. 入試情報の開示	24
10. その他	24

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用します。

- ①入学手続
- ②学籍管理
- ③修学指導
- ④学生支援関係業務
- ⑤入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

この「学生募集要項」は必ずダウンロード又は印刷し、熟読してください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書など
詳細は学生募集要項参照



STEP

2

インターネット出願登録サイトにアクセス

インターネット出願登録サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/shinshu-u-grad/>

または、

大学ホームページ (大学院インターネット出願) ▶

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 研究科・専攻の選択



③ 入試選択と留意事項の確認



④ 志望先情報の選択



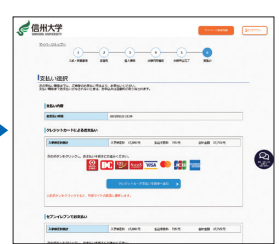
⑤ 顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。



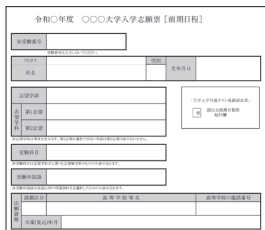
⑥ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

※海外在住の方はクレジットカードのみでの支払いとなります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

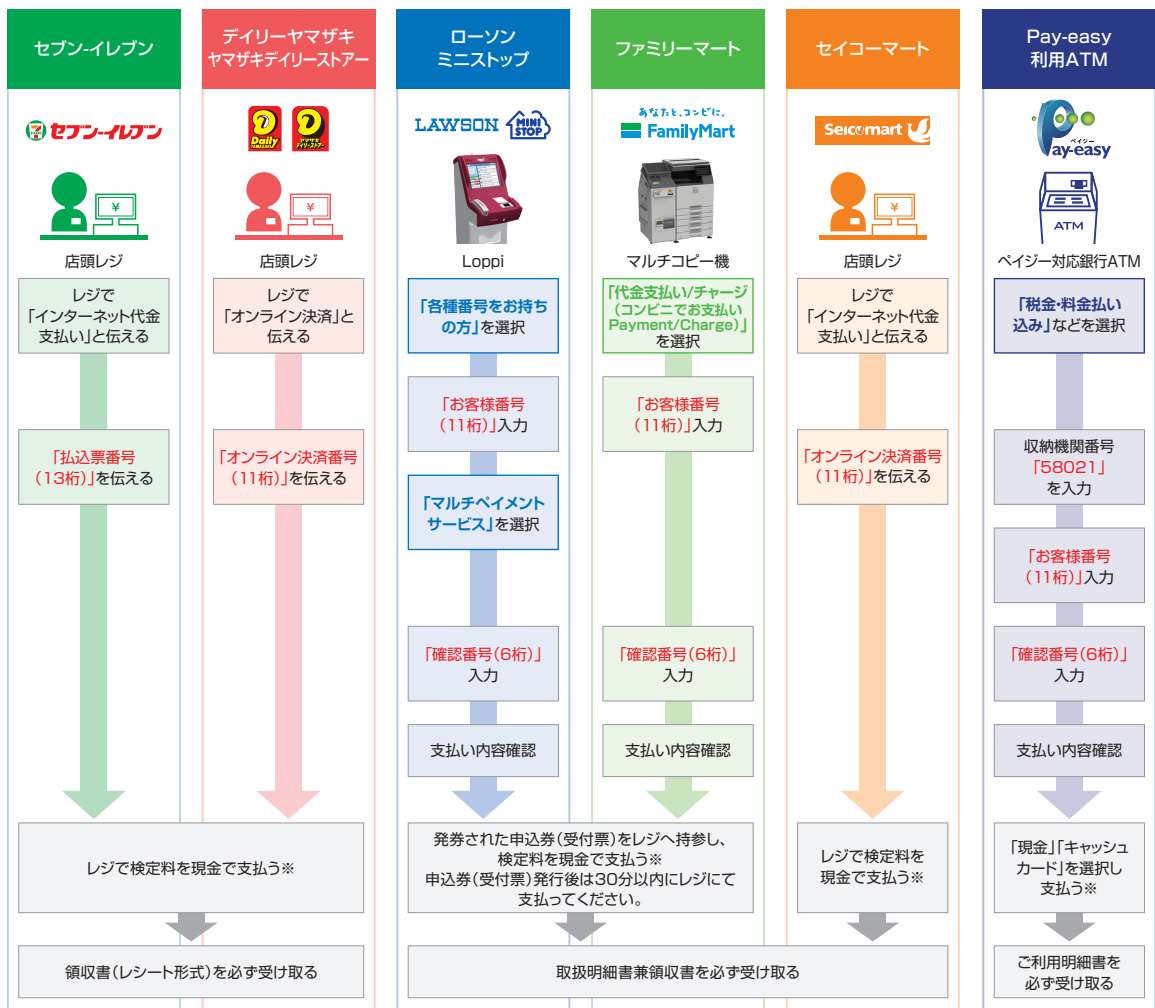
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。
※画面ボタンのデザインや支払い手順などは予告なく変更となる場合があります。

STEP

6

出願書類等の印刷と郵送 登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**簡易書留速達郵便**」で郵送してください。



送付先

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

「出願確認票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された **出願確認票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **出願確認票(印刷)** のボタンをクリックできるようになり出願確認票の出力ができます。

■ 出願書類

詳細は学生募集要項を確認してください。

※出願受理した入学検定料・出願書類等は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払い、出願書類の郵送は学生募集要項で定められた期間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。**必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)**。

なお、メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願登録サイトにログインし、各自で印刷をして試験当日に持参してください。

また、このメールに記載のURLから<受験者心得>にアクセスし、該当する研究科・専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

【受験票の印刷に関する注意事項】

必ずA4用紙に**片面印刷**をしてください。(白黒印刷可)
印刷用紙はA4サイズ縦・両面無地・白の用紙を使用してください。



Ⅱ. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 信州大学大学院入学者受入方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では各専門領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に合否を判定します。

3. 各分野の入学者受入方針

（1）人間文化学分野の入学者受入方針

人間文化学分野では、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力である「実践知」を基盤として、高度な論理的思考と科学的分析によって、複雑で多様な諸問題の根元を解明し、創造的な指針を得る「知の方法」に展開させることを目標にしています。「知の方法」を得た人物は、あらゆる科学や応用技術を支えるもっとも基本的かつ実践的の基盤である、柔軟な認識能力・多角的分析能力・

豊かな表現能力を身につけることとなりますので、進学先・就職先その他社会生活においても、それを活かして活躍していくことが期待されます。

上記の目標を達成するため、本分野の学生には、以下の能力や意欲が素養として要求されます。

1. 知識・技能

- ・専攻する専門領域の基礎学力

2. 能力

- ・文章などを的確に理解し、それに基づいて判断でき表現できる能力およびプレゼンテーション能力

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲
- ・社会が抱える課題の解決に、人間文化学的アプローチから取り組む意欲を有している者

本分野では、上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜・前期日程試験では、1・2 に対して各専門領域に必要な外国語文献・資料などを含む専門試験を課すとともに、面接試験では 3 を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。一般選抜・後期日程試験では、1・2 に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試験では 3 を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。

前期日程試験社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験では、1・2 に対して小論文を課すとともに、面接試験で 3 を中心にして必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書・自己申告書などを加えて総合的に合否を判定します。

後期日程社会人特別選抜及び私費外国人留学生試験では、1・2 に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試験では 3 を中心にして、必要な知識（私費外国人留学生試験では日本語能力を含む）と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書などを加えて総合的に合否を判定します。

（２）心理学分野の入学受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）心理学分野では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・心理学研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に、心理学的アプローチから取り組む意欲を有している者

4. 臨床心理学コース

- ・1～3に加えて、人々の心の健康の保持増進に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では心理学及びその関連領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。さらに、これに加えて臨床心理学コースでは、人々の心の健康の保持増進への意欲を判定します。最終的に、成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

(3) 経済学分野の入学受入方針

経済学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入れの方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・経済学の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・経済学に必要な統計学の基礎的手法における考察力・思考力を有している者

3. 意欲

- ・経済学の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲、旺盛な知的好奇心とリーダーシップをとるのに相応しいコミュニケーション能力を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するため、一般選抜では経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

(4) 法学分野の入学受入方針

法学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入れの方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・法学領域の基本的な専門的知識と法律的な考え方を身につけている者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を、法律的な考え方に基づいて、平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・法学領域の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える法的課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では法律学の専門領域に必要な基礎知識や法律的な考え方に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

Ⅲ. 総合人文社会科学研究科募集要項（第3次募集）

1. 募集人員

分野	専門領域/コース	選抜区分	募集人員
人間文化学分野	哲学・思想論領域、社会学領域、文化情報論領域、実験心理学領域、社会心理学領域、日本史領域、東洋史領域、西洋史領域、日本文学領域、日本語学領域、日本語教育学領域、中国語学・中国文学領域、比較文学領域、ドイツ語学・ドイツ文学領域、フランス語学・フランス文学領域、英語学領域、英語文学領域、芸術コミュニケーション領域	一般選抜	若干人
		私費外国人留学生試験	
		社会人特別選抜	
心理学分野	発達科学・認知科学・人間科学領域	一般選抜	若干人
		社会人特別選抜	
	臨床心理学コース	一般選抜	若干人
経済学分野		一般選抜	若干人
		推薦特別選抜	
		社会人特別選抜	
法学分野		一般選抜	若干人
		推薦特別選抜	
		社会人特別選抜	

2. 出願資格

(1) 一般選抜・私費外国人留学生試験

下表の1～14のいずれかの資格を満たす方

出願資格等の詳細説明	
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は2025年3月までに卒業見込みの方
2	学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は2025年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は2025年3月までに修了見込みの方
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は2025年3月までに修了見込みの方

出 願 資 格 等 の 詳 細 説 明	
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は 2025 年 3 月までに修了見込みの方
6	外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって 5 の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの方
7	専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は 2025 年 3 月までに修了見込みの方
8	文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
9	学校教育法第 102 条第 2 項の規定により本研究科以外の大学院に入学した方で、本研究科において、教育を受けるにふさわしい学力があると認められる方
10	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する方
11	2025 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
12	外国において学校教育における 15 年の課程を修了した方又は 2025 年 3 月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
13	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した方又は 2025 年 3 月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方
14	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は 2025 年 3 月までに修了見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められる方

※ 私費外国人留学生試験出願者は、上記に加え、外国国籍を持ち、在留資格「留学」を有しているか、入学時に「留学」を取得見込みの方とします。

※ 外国の教育課程を修了し、出願を希望する場合は、事前に出願資格について各分野へご相談ください。（「4. 出願手続（3）書類提出先及び問い合わせ先」を参照）

(2) 社会人特別選抜

※ 人間文化学分野、心理学分野発達科学・認知科学・人間科学領域、経済学分野、法学分野のみ実施

- ① 2025年4月1日現在満25歳以上の方
 - ② 2025年4月1日現在満25歳未満であるが、出願時に定職についている方
- 上記のいずれかに該当し、かつ下表の1~6の各号のいずれかの資格を満たす方

出願資格等の詳細説明	
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した方
2	学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された方又は2025年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
3	外国において学校教育における16年の課程を修了した方
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
5	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
6	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、2025年3月31日までに22歳に達する方

(3) 推薦特別選抜

※ 経済学分野、法学分野のみ実施

下表の1~3の全ての資格を満たす方

出願資格等の詳細説明	
1	出願時点で、信州大学経法学部4年次に在学しており、2025年3月31日までに卒業見込みである方
2	経済学分野 3年次後期までの通算GPAが2.5以上の方又は「ミクロ経済学Ⅰ」、「マクロ経済学Ⅰ」、「統計学Ⅰ」の全ての成績が「優」以上の方
	法学分野 3年次後期までの通算GPAが2.5以上の方又は「刑法Ⅰ」、「民法総則・物権法」、「憲法」の全ての成績が「優」以上の方
3	指導教員（出願時に指導教員がない場合は大学院で受け入れ予定の教員。以下同じ）の推薦を受けている方

※ 前期又は後期の推薦特別選抜に出願して不合格となった方は、第3次募集の推薦特別選抜に出願することはできません（第3次募集の一般選抜に出願することは可能です。）。

3. 入学資格審査

「2. 出願資格(1)の9~14又は(2)の6」により出願しようとする方は、以下に定める書類に基づき入学資格審査を行います。

(1) 申請書類受付

① 受付期間

2025年2月10日(月)～2月13日(木)(17時までに必着)

- ② 郵送する場合は、「簡易書留郵便」(日本国外からはEMS又はDHL等)とし、封筒の表に「大学院入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- ③ 提出先:「4. 出願手続(3)書類提出先」へ提出してください。

(2) 申請書類

書類等		摘要
1	入学資格審査申請書	本研究科 web サイト掲載の所定の様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。(https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/)
2	成績証明書	最終学歴の学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、厳封を必要としない「すかし」「浮き出し文字」等の不正防止処理が施された用紙を使用した証明書の場合は、厳封は不要です。
3	卒業(見込)証明書	成績証明書は、在学時の履修状況が示されていることが必要です。 英語以外の外国語の証明書には、日本語訳を添付してください。

(注) その他、申請書に添付書類が必要となる分野もあるため、申請前に確認してください。

(3) 入学資格審査結果の通知

審査結果は、2025年2月17日(月)までに申請時のメールアドレス宛にご連絡します。

- ※ 上記期限内に審査結果が届かない場合には速やかに問い合わせ先(「4. 出願手続(3)書類提出先及び問い合わせ先」)へ電話連絡をしてください。
- ※ 迷惑メール対策などでドメイン指定受信の設定をされている場合、必ず次のドメイン指定受信の設定を行ってください。「@shinshu-u.ac.jp」
- ※ 迷惑メールフォルダに振り分けられているケースがあります。お問い合わせの前に一度、ご確認をお願いします。

4. 出願手続

(1) 出願期間

分野	期間
人間文化学分野	2025年2月18日(火)～2月20日(木)17時(必着)
心理学分野	
経済学分野	
法学分野	

※ インターネット出願登録サイトへの事前登録及び入学検定料の支払いは、2025年2月11日(火)から可能です。

※ 必要書類等の提出は原則郵送とし、出願期間最終日17時(日本時間)までに必着とします。

(2) 出願方法

以下の①から③までの手続を行ってください。

① インターネット出願登録サイトへの登録(顔写真のアップロードを含む。)

② 入学検定料の支払い

a 検定料 30,000円

(注) 入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

b 支払期間【全分野】

2025年2月11日(火)～2月20日(木)

c 支払方法 4ページの「STEP5 入学検定料の支払い」をご参照ください。

(注)・銀行窓口での支払いはできません。

・コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。

・コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

③ 必要書類等の提出(郵送)

「(4) 出願書類等」を参照して必要書類を揃え、「(3) 書類提出先」へ出願期間内に原則郵送で提出してください。

※ 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、その封筒にインターネット出願登録サイトから印刷した「宛名シート」を貼り付け、簡易書留速達郵便(日本国外からはEMS又はDHL等)で郵送してください。出願期間最終日17時までに到着したものを受け付けます。

※ インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を郵送することで完了します。

- ④ 人間文化学分野出願者におけるテストメール送信
人間文化学分野に出願する場合、2月20日（木）17時までに以下の例に従い、「(3)書類提出先及び問い合わせ先（人間文化学分野）」に記載されているメールアドレスにテストメールを送信してください。

出願書類受理後にオンライン口述試問に必要な情報をメールでお知らせいたします。

《テストメール送信例》

件名：【人間文化学分野_第3次募集受験予定】テストメール送信

本文：氏名、フリガナ、メールアドレス（「出願確認票」と同一としてください。）

添付ファイル：「(4) 出願書類等① 1」の「出願確認票」のPDFファイル

(3) 書類提出先及び問い合わせ先

分野名	提出先及び問い合わせ先
人間文化学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 人間文化学分野入試事務室（信州大学人文学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2255 E-Mail: jgakumu1@shinshu-u.ac.jp
心理学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 心理学分野入試事務室（信州大学教育学部内） 〒380-8544 長野市西長野 6 の口 電話 026-238-4041 E-Mail: edu-ad@shinshu-u.ac.jp
経済学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 経済学分野入試事務室（信州大学経法学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2304 E-Mail: graduate_law_econ@shinshu-u.ac.jp
法学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 法学分野入試事務室（信州大学経法学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2304 E-Mail: graduate_law_econ@shinshu-u.ac.jp

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

(①、②は全分野共通書類)

- ① インターネット出願登録後、マイページから印刷する書類等

※印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

書類等	摘要
1 出願確認票	A4サイズ用の紙に印刷してください（白黒印刷可）。
2 宛名シート	印刷したものを市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、必要書類を入れて郵送してください。

② インターネット出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

書類等	摘要
3 写真	<p>写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png、bmp）、データ容量10MBまで）を用意してください。</p> <p>インターネット出願登録時に、志願者本人の写真（出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの）のアップロードを行ってください。</p> <p>不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。</p>

③ 志願者が準備する書類等

分野ごとに提出する書類が異なります。備考欄に従って提出してください。

人：人間文化学分野

発：心理学分野発達科学・認知科学・人間科学領域

臨：心理学分野臨床心理学コース

経：経済学分野

法：法学分野

書類等	摘要	備考				
		人	発	臨	経	法
4 成績証明書	<p>最終学歴の学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>ただし、厳封を必要としない「すかし」「浮き出し文字」等の不正防止処理が施された用紙を使用した証明書の場合は、厳封は不要です。</p> <p>在学時の履修状況が示されていることが必要です。</p> <p>なお、大学院を修了した方又は修了見込みの方は、大学と大学院の成績証明書を提出してください。</p> <p>英語以外の外国語の証明書には日本語訳を添付してください。</p>	○	○	○	○	○
5 卒業証明書又は卒業見込証明書	<p>最終学歴の学校等の長が作成した卒業（見込）証明書又はこれに代わるものを提出してください。</p> <p>入学資格審査で合格された方は本大学院の入学資格審査の結果通知書のコピーを提出してください。</p> <p>英語以外の外国語の証明書には日本語訳を添付してください。</p>	○	○	○	○	○
6 課題等	<p>「5. 選抜日時等及び選抜方法」の「(2) 選抜方法」を参照し、指示に従って課題等を作成し、その他の出願書類と同封し提出してください。</p>	○				

7	日本語能力試験 又は日本留学試験 成績通知書	【外国人志願者のみ】 過去に日本語能力試験又は日本留学試験を受験した方は日本語能力試験（N1）又は日本留学試験（日本語）の成績通知書のコピーを提出してください。 なお、受験していない方が不利益となることはありません。	○	○	○	○	○
8	「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	【外国人志願者のみ】 現に日本国に居住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市町村長が発行するもの）を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国証の部分）を提出してください。	○	○	○	○	○

（注）改姓により証明書等との氏名が異なる場合は、改姓後の「戸籍抄本」を提出してください。

④ 本研究科の web サイトからダウンロードして提出する書類

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>）

「※」は本研究科（各分野）の独自様式を示す。

書類等	摘要	備考				
		人	発	臨	経	法
9 研究計画書 ※	卒業論文等従来の研究主題とその概略及び入学後の研究計画を記入してください（2,000字程度）。	○				
10 受験承諾書 ※	【一般選抜】 官公庁、会社等に在職中の方は、可能な限り、その長又は代表者の承諾書を提出してください。 【社会人特別選抜】 勤務先に在職のまま在学することを希望される方は、勤務先の代表者の受験承諾書を提出してください。	○				
11 口述試験用調書 ※	必要事項を記入してください。 各項目について字数の制限はありません。		○	○		
12 研究計画書 ※ 又は 研究計画書 （社会人） ※	経済学分野所定の様式に従い作成してください。 「一般選抜」、「推薦特別選抜」を希望する方は、「研究計画書」を提出してください。 「社会人特別選抜」を希望する方は、「研究計画書」と「研究計画書（社会人）」の両方を提出してください。 社会人で、「一般選抜」を希望する方は「研究計画書」に代えて「研究計画書（社会人）」を提出することも可能です。				○	

13	参考資料	「研究計画書（社会人）」の「3 文章化された業績」に記載した場合には、重要と考えられるものすべてのコピーとその要約（各1,200字程度）を添付してください。						○	
14	研究計画書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。							○
15	自己申告書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。							○
16	参考資料	税理士試験における税法科目の免除を受けるために税法に関する修士論文を執筆することを希望される方は、税理士試験を受験したことがあればその結果通知書のコピー、その他にも税理士となるための能力・適性を評価するのに役立つ資料があればその資料を添付してください。							○
17	推薦書 ※ 又は 推薦書（推薦特別選抜）※	組織から派遣される社会人志願者は、本研究科所定の様式により志願者の所属する組織の長または所属部局等の長が作成したものを厳封して提出してください。 推薦特別選抜志願者は、本研究科所定の様式により、指導教員が作成したものを厳封して提出してください。 上記以外の志願者は、推薦書を提出する必要はありません。						○	○

社会人特別選抜出願者は上記（9～17）以外に次の書類を提出してください。

書類等	摘要	備考				
		人	発	臨	経	法
18 自己申告書 ※	出願者の能力、適性を審査するのに役立つと考えられる資料等のリストを記入してください。	○	○			
19 在職証明書	出願資格（2）社会人特別選抜②の方のみ提出してください。	○	○		○	

（5）出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 出願手続後の書類の変更は、認めません。
- ③ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ④ 支払済みの入学検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。

なお、入学検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた入学検定料（二重に支払った場合は重複して支払われた分）の返還が可能です。返還手続については、本学のwebサイト（入試情報ポータル／入学検定料返還手続）をご覧ください。

（https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html）

- ⑤ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格を取り消します。

- ⑥ 出願後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに
出願した分野の入試事務室に届け出てください。

(6) 受験票等

① 受験票の発行・受験者心得

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトのマイページからダウンロードできます。システム上で登録したメールアドレスへ受験番号発行通知メールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。

※ 受験番号発行通知メールに記載のURLから 〈受験者心得〉 にアクセスし、各分野の注意事項を印刷・熟読のうえ、試験当日に受験票とともに持参してください。

※ 受験番号発行通知メールが試験日の1週間前になっても届かない場合は、インターネット出願登録サイトにログインし、確認をしてください。

② 受験票の保管

受験票は入学手続や入試情報開示請求に必要となりますので、大切に保管してください。

5. 選抜日時等及び選抜方法

(1) 選抜日時及び試験場

2025年2月27日(木) 人間文化学分野・心理学分野

2025年2月28日(金) 経済学分野・法学分野

分野	時間	試験場
人間文化学分野	課題作文：出願時 オンライン口述試問：指定された時間	
心理学分野	口述試験 指定された時間	信州大学 教育学部 〒380-8544 長野市西長野6の口
経済学分野	筆記試験 10:00~11:30 口述試験 午後(指定された時間)	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
法学分野	口述試験 午後(指定された時間)	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

(2) 選抜方法

① 人間文化学分野

課題作文及び口述試問の結果並びに提出書類の記載事項等を総合して判定します。

一般選抜・私費外国人留学生試験・社会人特別選抜(課題作文+オンライン口述試問)

一般選抜・私費外国人留学生試験・社会人特別選抜のいずれの志願者にも、出願時に課題作文の提出が課されます。提出された課題作文に基づきオンライン口述試問を行います。

[課題作文]

「現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマについて論じなさい」

使用言語は日本語とし、2,000字程度にまとめること。パソコンなどで作成し、A4用紙に印刷し、その他の出願書類と同封し提出してください。

人文科学研究科及び総合人文社会科学研究科人間文化学分野の過去の試験問題(前期日程のみ)をご覧になりたい方は、「4. 出願手続(3)」に記載の「問い合わせ先」へ問い合わせしてください。

② 心理学分野

口述試験を行い、その成績と出願書類の内容を総合して判定します。

(ア) 一般選抜

発達科学・認知科学・人間科学領域

臨床心理学コース

試験等の概要

	試験内容	備考
口述試験	心理学及びその関連領域の専門的知識を評価します。 口述試験用調書等を参考に研究計画と修学への意欲を評価します。	

(イ) 社会人特別選抜

発達科学・認知科学・人間科学領域

試験等の概要

	試験内容	備考
口述試験	心理学及びその関連領域の専門的知識を評価します。 口述試験用調書等を参考に研究計画と修学への意欲を評価します。	

③ 経済学分野

入学者の選抜は、書類審査、筆記試験（推薦特別選抜を除く）、口述試験の結果を総合して行います。

(ア) 一般選抜

試験等の概要

	試験内容	備考
筆記試験	学部レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、統計学の基礎知識	
口述試験	経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する必要な知識と基礎学力の確認に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲の評価	

(イ) 推薦特別選抜

試験等の概要

	試験内容	備考
口述試験	経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する必要な知識と基礎学力の確認に加え、学問研究や社会・業務の課題解決への意欲の評価	

(ウ) 社会人特別選抜

試験等の概要

	試験内容	備考
筆記試験	ミクロ経済学とマクロ経済学の入門レベルの問題	
口述試験	経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する必要な知識と基礎学力の確認、業務と当研究科での研究の関連、学問研究や社会・業務の課題解決への意欲の評価	

④ 法学分野

入学者の選抜は、一般選抜・推薦特別選抜・社会人特別選抜とも、書類審査及び口述試験の結果を総合して行います。口述試験では1) 民法に関わる簡単な事例をもとに法律学についての基礎的な知識や考え方が備わっているか否かを評価するとともに、2) 学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行い、両者を総合して本分野の履修に適する能力を有するか否かの判定を行います。

※ 法学分野における研究指導体制についての情報提供について

研究対象とする法分野によっては、その法分野を専門とする教員がいなかったり、既に多数の大学院生の指導を引受けているといった事情により、合格してもその法分野を専門とする教員による研究指導を受けることが困難な場合もあります。入学試験に合格した場合の特定の法分野に関する研究指導の可能性について出願前に情報を得たい方は、法学分野入試事務室までご相談ください。その際、予定している研究題目についてもお知らせください。お問い合わせのあった時点での見込みとなりますが、可能な範囲で情報提供を行います。

(3) 受験に際しての注意事項

- ① 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に自身が受験する試験室に到着した者に限り受験を認めます。ただし、口述試問及び口述試験の集合場所への入室限度時刻については、受験者心得等において別途通知します。
- ② 各分野が定める試験を一つでも受験していない場合には欠席者となり、合格者とはなりません。
- ③ 交通機関の事故等により、集合時刻に間に合わない場合は、直ちに大学へ電話連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
なお、本学においては、追試験の設定はありません。
- ④ 災害等及び交通機関の事故等により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験開始時刻の繰下げ等の措置を行うことがあります。新たな措置を講じる必要が生じた際には、本研究科 web サイト又は出願時に登録したメールアドレスへお知らせします。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>

6. 合格者の発表

(1) 日時

2025年3月6日(木) 16時

(2) 合格通知

同日中に合格者には合格通知書等を発送します。(不合格の方には通知しません。)

また、本研究科 web サイトにも合格者の受験番号を掲載しますが、必ず合格通知書等を確認してください。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

7. 入学手続及び納付金

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に銀行振込により入学料を納入するとともに、原則として「書留速達郵便」により必要な書類を提出してください。詳細については、合格通知書に同封しお知らせします。

① 入学手続期間

2025年3月7日(金)～3月13日(木)(必着)

期間最終日17時までに必着とし、表に「大学院入学手続書類在中」と朱書きした封筒に必要書類を入れ、以下の入学手続書類提出先に「書留速達郵便」で送付してください。

持参する場合の入学手続の受付時間は、9時から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。また、3月11日(火)～12日(水)は、構内への入構はできません。

② 入学手続書類提出先

「4. 出願手続(3)」に記載の「書類提出先」へ提出してください。

(2) 納付金

① 納付金(入学料・授業料)の額

入学料	282,000円
授業料(前期・後期)	各267,900円 [年額535,800円]

(注) 金額は2024年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページ (https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentssupport/) を

確認してください。申請方法については合格通知書に同封される「信州大学大学院入学手続（入学料・授業料の納付等について）」を参照してください。

④ 長期にわたる教育課程の履修について

職業を有する社会人で修業年限（2年）を超えて、一定の期間にわたり計画的に履修することが認められた方に対して、年間の授業料の負担が軽減される制度があります（「10. その他（1）」参照）。希望される方は、入学手続期間に所定の様式により申し出てください。

（3）手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。
- ② 入学手続締切日までに入学手続を完了しない方は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。
- ③ 合格者が本学の定める入学資格を満たさなかった場合は、入学できません。

8. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等）のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方への事前相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願を検討している段階のなるべく早い時期に、以下の連絡先へ事前に相談の上、期限までに書類を提出してください。事前相談のあったものについて、本学で審査の上、それぞれの障害等の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。また、必要に応じ志願者等との面談を行うこともあります。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

（1）提出期限

出願受付開始日の2週間前まで

※ 提出期限後に不慮の事故等により合理的配慮が必要となった場合には、速やかに申請してください。提出期限後の申請については、受験上の配慮が講じられない場合がありますので、本学の受験を検討されている場合には、なるべく早く申請してください。

（2）提出書類

① 事前相談申込書

本学の web サイト（入試情報ポータル／受験上の配慮を必要とする方の事前相談 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）からダウンロード

② 医師の診断書や障害者手帳の写し

(3) 提出先・連絡先

「4. 出願手続(3)」に記載の「書類提出先及び問い合わせ先」へ提出、連絡してください。

9. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

① 開示方法：web サイト（下記 URL 参照）

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

② 開示時期：2025 年 4 月以降

(2) 個人情報（試験成績）：総合点

① 開示方法：開示請求による郵送を原則とします。

② 請求者：原則として受験者本人とします。

③ 請求方法

「入試情報開示請求書」に所要事項を記入し、下記の開示請求先に郵送してください。

なお、「入試情報開示請求書」は、本研究科の web サイトからダウンロードしてください。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒（長形 3 号（120mm×235mm））に郵便番号、住所、氏名を明記し、特定記録郵便分の切手を貼ったものを同封してください。

④ 受付期間：2025 年 5 月 7 日（水）～5 月 27 日（火）（消印有効）

⑤ 開示時期：受け付け次第順次

⑥ 開示請求先：「4. 出願手続(3)」に記載の「書類提出先」へ提出してください。

10. その他

(1) 社会人学生の学修について

① 本研究科は、大学院設置基準第 14 条（「修士課程においては、教育上特別の必要がある場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」）による教育を実施しています。社会人学生は、授業の開講時間や履修方法等について相談しながら、学修を進めます。心理学分野臨床心理学コースへの出願を考えられている方は、下記③をご確認ください。

② 職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望した場合は、長期にわたる教育課程の履修を認めることができます。希望がある場合は、入学手続時に申請を行い、4 年を限度に許可します。

③ 心理学分野臨床心理学コースは、資格取得のために 540 時間以上の実習を行うため、在職しながら学修することは困難です。2 年間大学院での学修に専念できる状況を整えてから入学するよう、ご準備ください。

- ④ 社会人で出願を考えている方、あるいは組織において社員や職員の派遣を検討されている場合等、お気軽にお問い合わせください。

社会人が在職のまま大学院に入学する場合、様々なケースが考えられます。修学方法（特に勤務と通学の時間的調整を必要とするとき）、その他就学補助制度など、事項は問いません。

- (2) 出願等に関するお問い合わせは「4. 出願手続 (3)」を参照してください。なお、受験に際して体調等に不安がある場合は、早めにご相談ください。